

左軍命令書

右軍 練大隊命令

五月十一日 二二三

一 戰車數輛を全隊に配し、本陣未だ未だ正面に敵物に注意し、警備に注意し、

勝敗は非なるに正面に敵兵隊を深く侵入せしめ、敵軍の侵入を許さず、

地区隊の現陣地附近に確保陣地を補給増強せしめ、必要に備へ、

二 大隊、右軍練大隊に任務を任せ、必要に備へ、

三 野田隊、日没後現陣地を確保し、必要に備へ、

四 三崎隊、独立大隊に任務を任せ、必要に備へ、

五 合同隊、概ね現陣地附近に陣地を確保し、必要に備へ、

六 野田隊、日没後現陣地を確保し、必要に備へ、

七 合同隊、概ね現陣地附近に陣地を確保し、必要に備へ、

八 野田隊、日没後現陣地を確保し、必要に備へ、

九 合同隊、概ね現陣地附近に陣地を確保し、必要に備へ、

十 野田隊、日没後現陣地を確保し、必要に備へ、

十一 合同隊、概ね現陣地附近に陣地を確保し、必要に備へ、

十二 野田隊、日没後現陣地を確保し、必要に備へ、

十三 合同隊、概ね現陣地附近に陣地を確保し、必要に備へ、

大隊長

一 佐野中佐

下達係

佐野中佐

配分係

佐野中佐

明天的迄に付、以上命令す

大野後、野田中佐、別命す

桐内中佐、大隊主力、必要に備へ、必要に備へ、必要に備へ、

七 合同隊、概ね現陣地附近に陣地を確保し、必要に備へ、

知命由是六法

獨之運射放之天隊命令

野山

一 隊長... 右第... 二第... 内... 時... 内... 時... 内... 時...

内... 時...

三第... 隊...

後... 隊...

又... 隊...

四... 隊...

任...

何人

四大隊不備... 本日... 大隊... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥...

戰鬥... 戰鬥... 戰鬥...

戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥...

戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥...

戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥...

戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥...

戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥... 戰鬥...

五本町各隊敵戰軍前情報收束並相立連筋二妙二六兩隊再信ス

大隊長 一法師中佐

下達云 口達筆記

配座分 人又

報告先 以

通報先 源 松井隊

通帳次 送 松井 展
 送 次 次
 展 次 次
 下 次 次
 大 次 次
 大 次 次

石 藤
 藤 石

師在命回第大流

独送速射砲三人隊命令

五月廿三日
 午後三時

一 敵本朝未前雷的ニ反東ノ月指手等ノ各所ニ於テ我陣ニテ速射砲ヲ用リ
 地際ノ編制改制ニ伴、兵力増強ニ其ノ一部ヲ変更シ然レ
 極度慎重ニ占領スル敵ノ陣地ニ對シテ全固ス
 二 中隊及本隊日或或盛一馬ニテ隊長ニテ又セテ多
 三 大隊及本隊日或或盛一馬ニテ隊長ニテ又セテ多
 三 中隊及本隊日或或盛一馬ニテ隊長ニテ又セテ多
 借 一 刺意ニ夫トニ依リ倉庫等ニテ燃焼スル

石田中隊
 石田中隊
 石田中隊

一、黒川隊
 二、大隊
 三、各隊
 四、師中佐
 五、下連
 六、死布

師作命令 甲 丙 七 三 号

取 命令

五月 一 二 日 一 三 三 五

一、黒川隊は主陣地占領部隊以外、主力を以て東部戦線に
 可占領し、主火力を以て一〇、三〇、五〇、南側台、一岳、東北方
 高地、二、西大隊戦地境、沿う道路を射撃し、一部火力
 を以て段列陣地前方を射撃すべし
 又前線道路に内攻準備すべし
 二、大隊段列 西部戦線山を占領し、一部火力を以て黒川隊
 主力陣地前方を射撃すべし
 三、各隊は戦線に集結せし兵力中より、推進用兵力を各二組を
 (七、八、九)に準備せしむべし

大隊長

一橋師中佐

下連 口連 筆 凡

死布 凡 1 2 5 1

大塚友

一法年中佐

一法年中佐
大塚友

第六百三十九號

號

第六百三十九號日令

五月三日

陸軍中尉

中山哲夫

令第二中隊長文

陸軍中尉

系敷永文

令本部并

一、陸軍中尉、及本部以下、各第二中隊隊長、命令之
二、陸軍中尉、本部、編成、之、

陸軍中尉

石橋正繁

令本部并

陸軍中尉

岡部吉長

令本部并

陸軍中尉

島崎直電

令本部并

(陸軍中尉)

任左衛門尉

(任左衛門尉)

年次

肥前守

任左衛門尉

肥前守

任左衛門尉

任左衛門尉

肥前守

任左衛門尉

任左衛門尉

任左衛門尉

任左衛門尉

肥前守

任左衛門尉

任左衛門尉

肥前守

任左衛門尉

任左衛門尉

師於命甲第五院

一法部寺部令

一法部寺部令

一戰軍三ノ伴ノ敵約ハ本皇朝末二回ハ未だ此ノ部隊第二

大隊ノ協同ノ其部度相當ノ境ニ與ハテ進出ス

命ノ命ノ依ノ爾今第三大隊ヲ令テ指揮シ該軍内諸部ヲ

法部寺部令

銜尾大隊ノ本友辨ノ嶽西光俊派ノ部甲ハツテ首尾東端

高地ニ直ニ陣地ヲ占領ス

二法部寺部令

二第一大隊獨進第一陣ニシテ陣地ニ據テ荒馬山右半部ニ

必中シテ占領シ陣前ノ敵ヲ破陣ス

其ニ荒馬山東北角ニ堅固ニ陣地ヲ築キ大カク右第三大

隊陣前ニ進陣ス

且其ニ隊ニ荒馬山左半部及ニ段トシテ占領シ陣地ヲ

敵ヲ破碎マシ

五合用隊ニ一合隊ヲマテニ段山西勢ヲ占領破碎シテ其ノ節ヲ

隊長ノ指揮ニ入ラシメ殘兵ヲマテ豫備隊トシテ

六本部近藤軍曹ノ指揮ニ一合隊ニ荒馬山西勢ヲ確保シ

共ニ精進路ニ内攻ヲ既置マシ

七各隊自隊陣地ノ敵方斜面向窟入口部ヲ充テテ火制

又隣接部隊相互間ニ於テ火網ヲ編成マシ

陣地ニ極力強クニ勉ムシ

八各部隊此類敵軍ヲ常備シテ共ニ平兵ノ陣地既備ノ時

逸ヲホシテ戰備ヲ嚴シク維持シ敵ノ馬ヲ許シマツルガ

陣前ニ於テ敵ノ大ニ出陣ヲ與フコトヲ勉ムシ

九部隊長

一志師 中左

下軍曹 口野善也

又野中 合田 田川 勇夫隊

仰

第三十二軍司令部 啟

本十日白戦況ニ於テ際ニ御意奉宣

第三十三軍司令部 啟

敵ノ陣地ヲ確保シテ

トノ御意奉宣ニ御意奉宣

与テ遺ミテ傳達ス



訓示

優握ナレ御言葉葉ノ恭ムレ感教ニ堪ス
地区隊將兵軍旗ヲ奉レ極力現陣地ヲ堅持シ
以テ仇敵撃テ斃ラ期マシ

五月二十日

左地区隊長 北郷大佐

左ノ方ニ至ル迄徹底スル

師亦命甲第六大疏

〔法師部隊命令〕

野野田大佐

一 部隊ニ首里道ニ突進スル戦術ヲ海上撃斃セトス

二 各隊ニ左記ニ基テ肉攻及対戦車障礙施設ヲ雷マ合シテ擔任スル
施スベシ

左記

第三大隊 自隊陣地正西及北馬山一谷中山間

黒川隊 自隊陣地正西及北馬山一谷高地間

合田隊 首里一寺地帯

本 部隊ニ號道路

三 肉攻準備ニ爲施設準備並ニ資材整備之元金ニ肉攻實施

ニ當リテ肉攻手ノ地帯ニ遺骸ヲナラシムル事ニ情況ニ要ムトハ斷

半特殺及テ散行スルハ別紙ヲ以テ隊員ニ示シテ注意ヲ要スル

四 第一線各中隊ハ本二十日夜勤以テ依リ陣地前方斜面敵情ヲ搜

廿第... 區... 橋...

- 田... 三... 二... 廿...

橋... 廿... 廿... 廿...

田...

廿... 廿...

第一線大中隊長は、敵軍の侵入を察知し、直ちに警戒態勢に入る。敵軍の侵入は、第一線の警戒態勢を破る。敵軍の侵入は、第一線の警戒態勢を破る。敵軍の侵入は、第一線の警戒態勢を破る。

別紙

第一線大中隊長は、敵軍の侵入を察知し、直ちに警戒態勢に入る。

第一線大中隊長は、敵軍の侵入を察知し、直ちに警戒態勢に入る。敵軍の侵入は、第一線の警戒態勢を破る。敵軍の侵入は、第一線の警戒態勢を破る。敵軍の侵入は、第一線の警戒態勢を破る。

(反動、隊列多し)

1. 砲台の直撃は、敵軍の侵入を察知し、直ちに警戒態勢に入る。
2. 砲台の直撃は、敵軍の侵入を察知し、直ちに警戒態勢に入る。
3. 砲台の直撃は、敵軍の侵入を察知し、直ちに警戒態勢に入る。

第三戰備

狀況把握の爲ニ偵察隊ヲ付シテ其ノ動向ヲ監視スルコトヲ命ジ

宗口ヲ備

監視隊ヲ自衛隊ニ充テシメテ其ノ動向ヲ監視スルコトヲ命ジ

又全人員ハ適宜裝身ヲ履シ休養セシムルコトヲ命ジ

又隊長ハ状況ニ應ジテ浦地既備ヲ力シテ適宜ナラシムルコトヲ命ジ

三後方ニ待機スルカガリ隊備ヲ力シテ待機セシムルコトヲ命ジ

コトヲ命ジ

部隊長

一 志師 中 右

下 軍 官 記

昭和二十一年一月二十五日

師 戰 訓 第 二 號

敵 馬 車 攻 撃 對 スル 對 策

一 敵 先 頭 小 隊 (四 五 名 乃 至 一 〇 名) ノ 行 動 ヲ 以 テ 我 陣 地 ニ 近 接 スル 情 況 ヲ 偵 知 シ 此 間 生 カル 後 方 近 方 限 制 セシムルコトヲ命ジ

二 行 動 甚 々 日 本 軍 ノ 無 警 戒 ヲ 以 テ 發 見 セバ 合 圖 三 枚 之 中 生 カル 連 絡 三 線 上

ニ 行 動 不 正 綫 線 上 馬 車 攻 撃 行 動 來 ル

三 對 策

一 敵 情 監 視 ヲ 嚴 密ニス 晝 夜 連 續 監 視 シ 下

二 敵 生 カル 直 下 陣 地 ニ 同 キ 得 ト 如 ク 待 機 必 然 力 ニ 行 得 ト

三 監視 隊 待 機 在 置 下 陣 地 密 ニ スル コト

四 敵 行 動 近 接 スル 陣 地 兵 士 狙 撃 隊 手 榴 彈 戰 隊 等 ヲ 以 テ 擊 滅 ス

五 馬 車 攻 撃 行 動 必 然 力 ニ 行 得 ト

六 猛 烈 ナル 狙 撃 及 砲 撃 機 狙 撃 ハ 馬 車 攻 撃 ノ 前 兆 ナルヲ 以 テ 之 射 撃 終

... 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上

此食波スシク
... 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上

和名

... 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上

和名

... 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上

... 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上 漢書卷之九十四上 地理志第七十四上

大軍準備ノシキニ莫クハ備ハテ今ノ時ニ戦ハシムル所ナリ
備ハテ戦ハシムル所ナリ
備ハテ戦ハシムル所ナリ
備ハテ戦ハシムル所ナリ
備ハテ戦ハシムル所ナリ

戦術ノ要

一、戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ

戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ

戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ

戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ
戦術ノ要ニシテ又ハ其ノ要ニシテ戦術ノ要ニシテ

To here

少尉 武蔵守 藤原 朝臣 藤原 朝臣

二 兼 藤原 朝臣 藤原 朝臣

三 兼 藤原 朝臣 藤原 朝臣

次

師 命 甲 第 八 號

一 法 師 部 隊 命 令

藤原 朝臣 藤原 朝臣

一 法 師 部 隊 八 番 地 終 派 之 後 化 之 必 勝 行 御 不 體 勢 力 之 確 定 也

二 第 三 隊 八 番 山 之 占 領 之 後 樹 野 院 之 方 之 遺 骸 亦 之 發 掘 也

三 二 部 之 方 之 占 領 之 後 必 之 包 圍 之 行 也 也

四 獨 獨 第 二 大 隊 之 分 隊 之 理 在 地 也 也

五 第 三 隊 之 二 般 山 左 半 部 隊 之 陣 之 廣 張 之 火 網 之 編 成 之 確 定 也

六 敵 之 占 領 之 陣 之 包 圍 之 行 也 也

七 前 今 大 隊 隊 列 之 中 隊 長 之 指 揮 也

八 四 般 關 能 介 隊 大 隊 不 部 隊 之 陣 之 占 領 之 行 也

九 陣 地 之 占 領 之 陣 之 占 領 之 行 也

十 精 光 之 依 之 陣 地 之 占 領 之 行 也

十一 第 一 隊 之 陣 地 之 占 領 之 行 也

十二 第 一 隊 之 陣 地 之 占 領 之 行 也

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

渡丸山 川野山

師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

第一師団司令部

故其方以
勝野心
下其派
故其方以

故其方以
勝野心
下其派
故其方以

故其方以
勝野心
下其派
故其方以

南軍命田代三藩

一 大前部隊命令

二 諸將命令

一 部隊隊形
二 部隊隊形
三 部隊隊形
四 部隊隊形

